

# 1. 医師不足問題と地域医療連携の必要性の高まり

近年、地域の患者が必要以上に高度な医療を求めて中核病院へ集中。2004年度の新臨床研修制度開始以降顕著になった地域医師不足とあいまって、中核病院での医師の負担が増大し、医師が辞めていくという悪循環が発生。このような地域の医師不足問題(医療崩壊)に対応するため、地域における医師確保に加えて、中核病院と周辺の診療所等の適切な役割分担(地域医療連携クリティカルパスなど)によって患者の治療を一体的に実現することが必要との認識が高まる。

